

第6回和牛甲子園まであと少し

1月19、20日に開催される第6回和牛甲子園まで、あと1か月を切りました。先日には出荷前最後の肉質診断が実施されました。今年度は、約2年ぶりに東京での開催となります。取組発表の審査は、動画で実施されますが、全国の農業高校生との関わりを多くもてる機会でもあります。大会当日が今から楽しみです。

大会より先に、牛たちが東京に出発するため、冬休みが明ければ、1週間後には出品牛の出荷になります。最後まで、ケガすることなく無事に出品できることを心から願います。

今回の和牛甲子園では、大会セレモニーの中で昨年度の優勝旗返還を行います。また、抽選の結果、枝肉共励会の中での選手宣誓を渥美農業高校が担当することになりました。昨年度の結果に恥じないよう、大会の審査内容に関わる以外の部分でもしっかりとした態度で臨めるように準備を進めます。

大会終了後には、応援していただいた皆様が良いご報告ができるよう、残りの期間、精一杯を尽くします。私たち、そして牛たちへの応援をよろしく願います！

	みお号	もも号
ロース芯面積	73.0cm ²	78.0cm ²
バラ厚	8.9cm	9.3cm
皮下脂肪厚	3.4~3.0cm	2.4~2.0cm
BMS No.	11	11+

↑ 肉質診断結果

ちょっとした手土産もぴったり！

年末年始の手土産に、また少しずつカレーを購入していただける方が増えてきました。1食ずつのレトルトパウチなので、長期保存、常温保管が可能なので、手土産にはぴったりです！今後、外部での販売の予定は立っていないため、直近の販売は1月のあつのうマーケットになります。1月が今年度最後のマーケットにもなりますので、ぜひお越しいただいて、お買い求めください。

2022年最後の1仕事として、このカレーの商品化、販売に関わる内容で、動物科学部2年生が、みらい甲子園の東海エリア大会へエントリーしました。3年生の卒業も近づく中で、少しずつ後輩たちへと活動が引き継がれていきます。規格外トマトの活用から始まったこの取組は、まだまだ様々な取組に幅を広げていけるテーマです。これからも、楽しみにしててください。



校内プロジェクト

結果

12月7日に行われた、校内プロジェクト発表会において動物科学部の2つの発表が最優秀賞、および優秀賞を獲得しました。人数が少ない中での発表でしたが、それぞれが責任持って仕事をやり遂げられました。来年度の県大会に向けて、より取組を充実させていきます。

最優秀賞

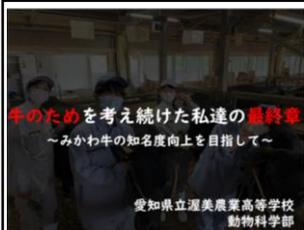
分野Ⅲ類【ヒューマンサービス】

牛のためを考え続けた私達の最終章
～みかわ牛の知名度向上を目指して～

優秀賞

分野Ⅰ類【生産・流通・経営】

広がる！規格外トマトの可能性！
～持続可能な畜産経営を目指して～



広がる！規格外トマトの可能性！
～持続可能な畜産経営を目指して～
渥美農業高校 動物科学部
水谷孝志、広田菜砂、岩本達